

1. 宮城県 2. 青森県 3. 山形県 4. 秋田県

1. 農業の効率化を図るため、散在していた田畑が集約され大規模な国営農場へと変化した	2. かつては田畑が目立っていた場所に、住宅地が形成され郵便局などの公共施設が新設された	3. 高齢化社会への対応として、大規模な老人ホームや福祉施設が広範囲に建設された	4. 仙山線の新設に合わせて、駅前を中心に大規模な商業ビルが立ち並ぶようになった
--	--	--	--

1. 奥羽山脈は標高が低くならかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。
2. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。
3. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。
4. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。

1. 高原 2. 盆地 3. 平野 4. 台地

1. 長期間にわたって降水量が極端に少なくなり、水不足による立ち枯れが発生する。

2. 低い雲が広がることで日照不足となり、気温が上がらないために生育が妨げられる。

3. 海からの塩分を含んだ強い風が吹き抜けることで、作物が塩害を受ける。

4. 山を越えた風が乾燥して高温になることで、稲が乾燥して枯れる被害が生じる。

1. 奥羽山脈 2. 出羽山地 3. 越後山脈 4. 北上高地

1. 広大な平野を活かして、夏と冬で異なる作物を作る二毛作が全域で普及しており、米の銘柄化は進んでいない。
2. 冷害対策として、全ての水田を温室のような施設栽培に切り替えることで、高級な銘柄米を安定供給する体制を築いた。
3. 夏の低温被害である冷害を避けるため、品種改良によって耐冷性と食味を両立させた銘柄米の生産に力を入れている。
4. 日本海側では「やませ」の影響による干ばつが多いため、干拓地を利用した大規模な灌漑施設による銘柄米作りが行われている。

1. 砂浜海岸が続くため、地引網による漁法が発達しており、主に加工用のイワシを大量に漁獲するのに適している。

2. 冬の季節風の影響を受けにくいいため、一年を通じて温暖な気候が保たれ、亜熱帯性の魚類の定置網漁が中心となっている。

3. 海岸線が直線的で遠浅の海が広がるため、大規模な干拓を行いやすく、沿岸部での稲作との兼業が盛んである。

4. 水深が深く、波が穏やかな入り江が多く形成されるため、ワカメやカキなどの養殖業や良港の建設に適している。

1. 九州地方の南部に位置し、多くの離島や活火山を抱える鹿児島県

2. 関東地方の北東部に位置し、筑波山や日本第2位の面積を持つ湖がある茨城県

3. 本州の西端に位置し、関門海峡に面した歴史的な交通の要所である山口県

4. 本州の最北端に位置し、夏に大規模な祭りが開催される青森県

1. 山形県に位置し、奥羽山脈の西側で果樹栽培の中心地としての役割を果たしている。

2. 福島県に位置し、東北新幹線の沿線として関東地方への通勤圏としての役割が強い。

3. 宮城県に位置し、東北地方全域を管轄する国の出先機関や企業の支店が多く集まっている。

4. 青森県に位置し、津軽平野を中心としたリンゴ栽培の集散地として機能している。

1. 大規模な機械化を徹底的に推し進め、輸入農産物と同等の低価格を実現することのみに専念する。
2. 海外から安価な種苗を大量に導入し、栽培にかかる初期コストを極限まで抑えて生産量を増やす。
3. 輸送コストを削減するために、都市部の消費地から離れた地域での農業生産をすべて停止する。
4. 農業の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。

1. 夏の冷たく湿った北東風（やませ）を遮ることで、日本海側における冷害の発生を完全に防いでいる。
2. 標高が非常に高いため、山脈の周辺地域は一年中熱帯収束帯の影響を受けやすくなっている。
3. 冬の湿った季節風を遮ることで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる要因となっている。
4. 山脈が風を遮らない構造であるため、冬の太平洋側でも日本海側と同様に連日雪が降り続く。

1. 台風の直撃による風水害 2. フェーン現象による高温障害 3. 冬の季節風による大雪害 4. やませによる冷害